

三菱重工労働組合の

三菱重工労働組合前中央執行委員 / 平野邦弘

■すくらむトライ

労働組合の活動事例 ⑮

三菱重工労働組合は、本社支部・相模原支部・横浜製作所支部・名古屋航空宇宙システム製作所支部・名古屋誘導推進システム製作所支部・名古屋冷熱支部・工作機械支部・神戸造船支部・高砂製作所支部・三原支部・広島支部・下関造船支部・長崎造船支部の13の支部で構成する組合員3万5千名の組合です。

私たちが進める民主的労働運動の目的は、人間尊重を基盤に、働く者の生活向上と、より豊かな社会の実現をめざすことにあります。

この目的を実現するために、私たちは各種の活動を展開していますが、教育活動はその根幹を形づくる重要な活動であると位置付け取り組んでいます。

今回は、組織の強化発展と、組合員の人的成長への一助として取り組んでいる教育活動の中から「生涯学習」について紹介します。

◆経緯

昭和48年（1973年）の第一次オイルショックを契機にわが国の高度経済成長が終焉し、低成長時代へと移行したことから、時代は「物の時代」から「心の時代」へと移ってきました。このように変化する社会や生活環境に対し、どのように適応していくかが個人にとっても組織にとっても重要なテーマとなりました。私たちは「組合員の人生の節目節目において学習体験の機会を設け、自己啓発への動機づけをはかる」ことを生涯学習の目的として取り組みを開始しました。

昭和47年に策定した教育基本方針に昭和52年に生涯学習教育への取り組みを織りこみ、カリキュラムの整備や教育器材の整備、トレーナー団の育成等体制の整備に努めてきました。

◆生涯学習の実施基準

名称	日程	対象	教育の目的
フレッシュ・コース	PART1	4H	新入組合員（全員） 社会における人間関係について学び、労働組合が行う諸行事への参加を高めることにより、新入組合員がスムーズに社会生活になじむことを目的とする。
	PART2	4H～1泊2日	
ヤングアドベンチャー・コース	1泊2日	25歳前後の組合員（全員）	生涯生活設計を行い、自己啓発の動機づけの場とするとともに、同世代の仲間づくりを進める。
ファミリーアドベンチャー・コース	1泊2日	35歳前後の組合員とその家族（応募）	家族とともに、野外活動などを通じ、自然との調和を図り、明日への活力に結びつける。
リフレッシュ・コース	1泊2日	42歳前後の組合員	健康管理の徹底と自己啓発により、次のステップへの準備として、パワーアップを図る。
ナイスライフ・コース	PART1	1泊2日	55歳前後の組合員 定年後のライフスタイルを描くとともに、会社生活を終えた後の人生をいきいきと送るための準備を整える。
	PART2	4H～8H	57歳前後の組合員 会社生活を終えるにあたっての不安の解消と残された職業生活をいきいきとしたものとする。

生涯学習への取り組み

フレッシュ・コース



ヤングアドベンチャー・コース



ファミリーアドベンチャー・コース



リフレッシュ・コース



ナイスライフ・コース



◆教育トレーナー（団）の育成と組織化

教育・生涯学習を具体的に展開するには専門的な知識や技量を持ち、研修内容の企画、運営を行うトレーナーが必要です。私たちは組合員に親しみやすい生涯学習・組合員の実態に即した教育を目指したことから、トレーナーは自ら

の組織（組合員）の中から育成し組織化することとしました。

それまで各支部で行われていたトレーナーの育成を昭和51年から各支部トレーナー間のレベル統一を図る目的から本部で統一して

実施することとしました。昭和58年には各支部に教育トレーナー団を設置し本格的に生涯学習への取り組みを開始しました。平成6年には教育トレーナー団運営規定を制定しトレーナー団の役割を明確化しました。現在は、基礎的な知識や技量を身に付ける教育トレーナー養成講座基礎編、より高度な知識や技量を養う応用編、インス

トラクターとしての技量を学ばら伊フラーニング・セミナーの三つの講座を開催しており新人からベテランまで幅広く教育の機会を設定しています。平成18年（2006年）9月時点で273名（内女性24名）が各支部で活躍しています。

◆教育資金への対応

生涯学習を将来にわたって安定的に維持し、各支部の運営レベルの均一化を図り実施していくためには、資金の面についても安定的にその資金が確保されなければなりません。三菱重工労組では、平成6年（1994年）から4年間をかけて各支部からの拠出金約11億円を本部で集約し積み立て、この資金の運用利益を各支部での生

涯学習運営費への補助として資金面からのサポートをしています。

具体的には半日コースで2000円／1人、1日コースで4000円／1人、1泊コースで1万円／1人を補助しており、前年度実績は35000人の組合員に各コースへ参加いただき、約2000万円を補助支給しました。今後も市場金利の状況を正しく判断し継続的に運用益が確保できるよう運営していかうと考えています。

◆最後に

私たちを取り巻く環境は急激な変化を続けています。社会の急激な変化がもたらす環境変化や組合員のニーズに的確に対応し、生涯学習をさらに発展させるために教育基本方針の定期的な見直しやテキストやビデオ等の教育機材の充実に今後も積極的に取り組んで行きます。



教育トレーナー養成講座基礎編

教育トレーナー養成講座応用編

ライフラーニング・セミナー